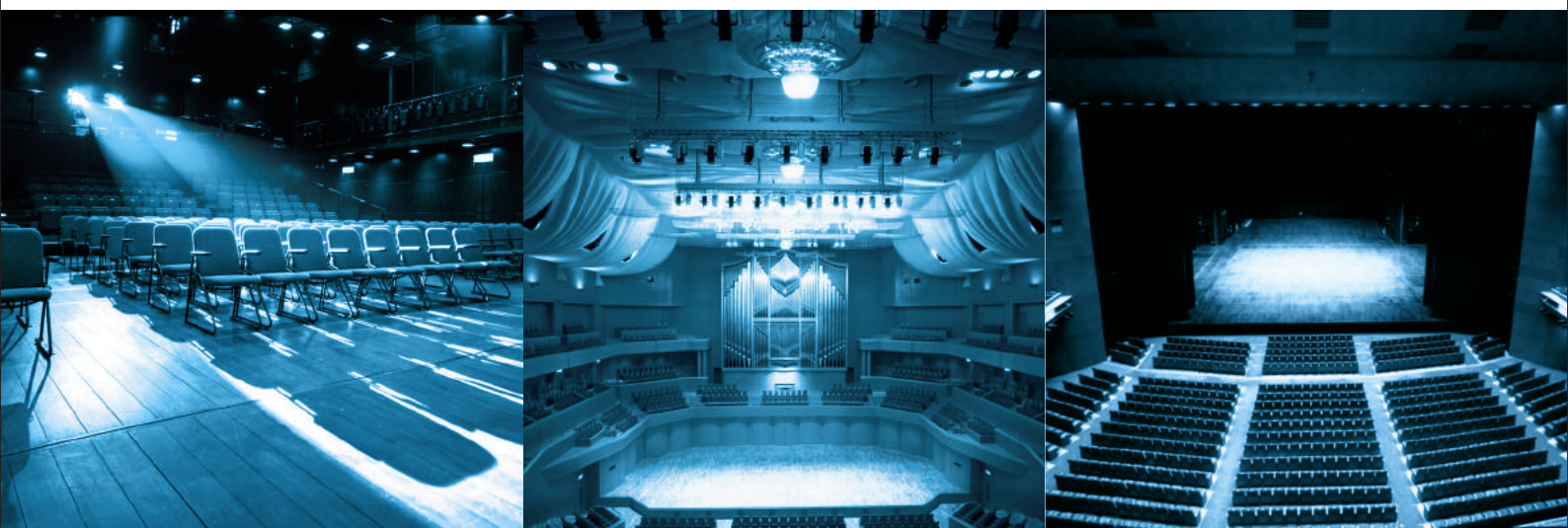


# 2017年度 愛知県芸術劇場 舞台芸術人材養成ラボ 報告書



## 2017年度 愛知県芸術劇場 舞台芸術人材養成ラボ 報告書

はじめに・実施概要・実績	2-3
①舞台芸術インターン	4-5
②学生インターン・お仕事ナビ	6-7
③劇場職員セミナー	8-12
【関連セミナー】愛公文セミナー・【研修生受け入れ】	13
④舞台芸術創造セミナー	14-15

## はじめに

愛知県芸術劇場では年間を通じてさまざまな研修プログラムを実施しています。2017年度も引き続き「舞台芸術人材養成ラボ」として、対象者・目的別に4つのプログラムを開催しました。各プログラムともにそれぞれ改変を重ね、地域のニーズや芸術環境の現状に対応した内容となるよう努めました。

対象者として主に舞台芸術等を学ぶ学生を想定し、若い優秀な人材が舞台芸術に関わる仕事に関心を持ち、これから仕事に就く手助けとなることを目的とした2つのインターン・プログラム。様々な仕事を紹介する「舞台芸術お仕事ナビ」も開催しました。そして、すでに舞台芸術に関わっている専門人材に対しては、スキルアップと情報交換の場となる2つのセミナー。そのほか、愛知県公立文化施設協議会との協力によるプログラムや研修生の受け入れも含め、全体でより充実した研修を実施しました。

今後も、引き続き継続して研修プログラムを開催し、地域の拠点劇場としての役割を果たしていくとともに、この地域全体での舞台芸術の振興と芸術環境の整備につなげます。

愛知県芸術劇場  
館長 丹羽康雄

## 愛知県芸術劇場 舞台芸術人材養成事業

豊かな創造性を備えたスタッフの育成  
地域全体での舞台芸術の振興・芸術環境の整備  
情報交換とネットワークの共有・地域の拠点劇場としての役割

### 愛知県芸術劇場 舞台芸術人材養成ラボ

#### ①実践実習プログラム P.4・5

#### 舞台芸術インターン

《制作》コース・《舞台技術》コース・《広報》コース(2年制)／個別インターン

**対象** 舞台芸術に関わる仕事に就きたいと考えている学生(大学2年生・3年生での受講を推奨)や、そうした仕事を始めてまもない若手制作者・技術者。

**募集期間** 4月～5月

**実施期間** 1年目:6月～2月(25日間程度)  
2年目:通年(10日程度)

**内容** 企画制作、広報および舞台技術の3コースで実施。企画制作・広報・舞台技術の基礎から学び、実践能力の習得と向上を目指す長期インターンシップ。2年継続しての受講を推奨。

舞台芸術のプロを  
目指し始めた人のために

#### ②職場体験プログラム P.6・7

#### 学生インターン・お仕事ナビ

職場体験、大学等と連携したインターンシップの受入等

**対象** アートマネジメント、舞台技術、舞台芸術振興等に関心のある学生等。(大学2年生での受講を推奨)

**募集期間** 6月

**実施期間** 学生インターン:7月～8月(3日間)  
お仕事ナビ:8月(半日間)

**内容** 学生インターン:劇場の仕事全般についての概要説明と主催公演の現場体験。  
お仕事ナビ:舞台芸術に関わる様々な仕事の紹介。

劇場の仕事について  
知りたい人のために

#### ③技能習熟プログラム P.8～12

#### 劇場職員セミナー

**対象** 主として公立劇場等の若手から中堅職員(3年目以上の勤務者を想定)等。

**募集期間** 10月～12月

**実施期間** 1月(3日間)

**内容** 職員の情報収集やスキルアップなど専門性の向上を図る。劇場運営・舞台技術、広報・アートマネジメントをテーマとした講演会、グループ討議、実習。

若手～中堅職員の  
ために

#### ④創造制作プログラム P.14・15

#### 舞台芸術創造セミナー

**対象** アーティスト、公演制作者、劇場職員、大学等で舞台芸術を学ぶ学生、芸術文化コーディネーター等。

**募集期間** 12月～2月

**実施期間** 1月～3月(2～4日間)

**内容** 新しい作品創造、クオリティの高い作品創造のために知っておくべき舞台技術を学ぶ実習やクリエイション・ワークショップ。

作品創造に  
関わる人のために

新任職員のために  
「愛公文セミナー」 P.13

研修生の受け入れ P.13

文化庁・全国公立文化施設協会ほかとの  
共催・協力

平成 29 (2017) 年度実績

【舞台芸術人材養成ラボ】

プログラム/コース		講師等	場所	日程	日数	参加人数(人)	
① 実践実習プログラム 舞台芸術インターン	1年目	企画制作コース	小ホール ほか	5/31~3/1	66日 (平均28日 参加)	2	8
		舞台技術コース				4	
	【特別枠】公演制作実習コース	7/30~8/1		3日	1		
		2年目		企画制作コース	7/21~3/26	34日 (平均11日 参加)	
舞台技術コース	3						
② 職場体験プログラム 学生インターン・ お仕事ナビ	学生インターン	丹羽康雄(愛知県芸術劇場館長) ほか同劇場職員	大ホール ほか	8/1~8/3	3日	26	
	お仕事ナビ	長谷川巨(名古屋市文化振興事業団) ほか	アートスペースG	8/5	1日	26	
③ 技能習熟プログラム 劇場職員 セミナー	劇場舞台技術 運営コース	①明日からの仕事がかかる! ~劇場職員1UP講座(照明編)~	名古屋市 青少年文化センター アートピアホール	1/10	34	667	
		②明日からの仕事がかかる! ~劇場職員1UP講座(舞台編)~					27
	基調講演	⑤基調講演「これからの文化行政の課題とは」	綿江彰祥 (一般社団法人 芸術と創造 代表理事)	73			
	広報制作 コース	③ぶっちゃけSNSってどうなのよ ~デジタル・メディアの行方を考える~	森藤亜美(名古屋市文化振興事業団) ほか	名古屋市 青少年文化センター 第1スタジオ	66		
		④ぶっちゃけ広告ってどうなのよ ~広報予算の賢い使い方を考える~	宮田健(名古屋市文化振興事業団) ほか	73			
	舞台技術 劇場運営 コース	⑥大規模改修に臨む! ~経験から学ぶ大規模改修~	浅野芳夫 (愛知県芸術劇場 劇場運営部長)	名古屋市青少年文化 センター第1スタジオ	30		
		⑦明日からの仕事がかかる! ~劇場職員1UP講座(音響編)~	大矢英和(名古屋市民ギャラリー栄・東山荘 館長) ほか	名古屋市青少年文化 センターリハーサル室	27		
		⑧トラブルに挑む! ~事例から学ぶ舞台のトラブル対応~	櫻井拓朗(新国立劇場) 池田拓司(兵庫県立芸術文化センター) ほか	名古屋市 青少年文化センター 第1スタジオ	33		
	企画制作 ・広報 コース	番外ゼミ: トラブルに沈む!~事例から笑う覆面トーク	A野(A県芸術劇場) MI山(N市文化の家) ほか	25			
		⑨助成制度と申請のポイント	唐津 給理(愛知県芸術劇場)	名古屋市 青少年文化センター 第3練習室	43		
		⑩-A コミュニケーションの秘密、教えます! ~アーティストから学ぶ接遇術(有料)	LONTO (クラウンファミリープレジャーB 道化師)	15			
		⑩-B アウトリーチ最前線!~地域創造・ア ウトリーチフォーラムを事例に~	梶田美香(名古屋芸術大学芸術学部音楽領 域 教授) ほか	名古屋市青少年文化 センター第1スタジオ	44		
	全体	⑪ぶっちゃけ地域連携ってどうなのよ ~その目的と課題を考える~	坂崎裕二(可児市文化創造センターala) ほか	名古屋市 青少年文化センター 第3練習室	47		
番外ゼミ: 劇場の働き方は改革できるのか?		布目藍人(日本芸能実演家団体協議会) ほか	22				
④ 創造制作プログラム 舞台芸術創造 セミナー	基礎講座(舞台作品の「音楽」とは?)	港 大尋 (作曲家・ピアニスト・シンガーソングライター) 大村太一郎 (コントラバス・チェロ・打楽器奏者)	大リハーサル室	2/21.22	2日	12	
	舞台作品における音楽 のあり方をめぐって~ 講座と実践の両面から	基礎実践(グループでのデモ作品創り)	堀優 (金井大道具NAGOYA共同企業体音響技 術者)	2/27.28	2日		
合計人数						743	

その他

【関連セミナー】

愛公文セミナー	I	①文化政策を取り巻く環境 ②舞台業務の基礎知識	浅野芳夫(愛知県芸術劇場 劇場運営部長) 丹羽功(名古屋芸術創造センター 館長) ほか	アートスペース EF, G	6/17	1日	46	111
	II	③自主文化事業の制作実務 ④施設の管理と運営			8/29	1日	30	
	III	⑤リスクマネジメント ⑥自主文化事業の企画立案			11/14	1日	35	

【研修受け入れ】

職員受け入れ	長久手市文化の家	愛知県芸術劇場	4/5~6/22	20日	1	2
	金沢芸術創造財団	名古屋市青少年 文化センター	1/10~12	3日	1	

## ①実践実習プログラム

# 舞台芸術インターン ■1年目(企画制作コース・舞台技術コース・広報コース(2年制)／個別インターン)

**対 象** 舞台芸術に関わる仕事に就きたいと考えている学生や、そうした仕事を始めてまもない若手制作者・技術者。

### 研修内容

日程	舞台技術コース	企画制作コース	広報コース
2017/5/31、6/13、8/1、8/5、9/27、11/1、12/4、2018/1/9、2/7	①劇場研修(講義・基礎実習): 愛知県芸術劇場での仕事全体について、自主事業・広報・舞台技術・支配人の仕事について、施設見学、振り返り		
6/24、7/7	②企画立案実習:AAF戯曲賞受賞記念公演『それからの街』のロビー展示およびPRの企画・立案		
6/10~10/23	③実践実習1:ファミリープログラムの見学、ワークショップ等のアシスタント、およびAAF戯曲賞受賞記念公演『それからの街』の稽古見学、仕込み、パラス等舞台技術実習	③制作&広報実習1:ファミリープログラムの見学、ワークショップ等のアシスタント、およびAAF戯曲賞AAF戯曲賞受賞記念公演『それからの街』の稽古立ち合い、受付、広報、ロビー装飾実施等、制作および広報実習	
12/5~2/7	④実践実習2:後半の自主事業での仕込み、パラス、音響、照明等舞台技術実習	④制作実習2:後半の自主事業での打ち合わせ・公演の現場実習	④広報実習:劇場の広報について
3/1	全体振り返り		

**日 程** 2017/5/31~2018/3/1  
うち66日(一人あたり平均28日参加)

**会 場** 愛知県芸術劇場小ホール (ほか)

**講 師** 世古口善徳(愛知県芸術劇場シニアエンジニア)、山本麦子(同プロデューサー)、藤井明子(同チーフマネージャー)ほか、同劇場職員

**参 加 者** 8人(愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、東海学園大学、名古屋学芸大学、名古屋市立大学、南山大学、社会人)

### アンケートより:

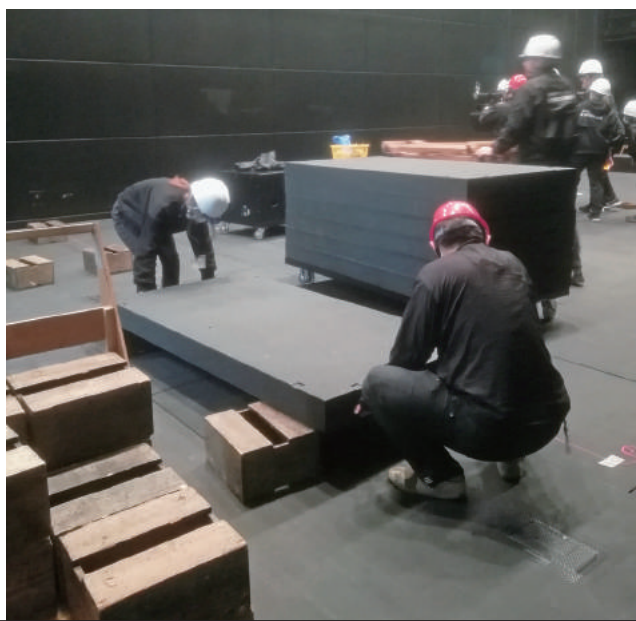
●自分が将来何をしたいのか、そのために今何をしたい方がいいのか、じっくり考えるきっかけになりました。演劇だけでなく、ダンスや音楽、美術などいろいろな知見を広げて、将来芸術に関わってみたいと強く思いました。

●舞台芸術に対する考え方が今までは学生気分だったと実感しました。プロとして携わる人の考え方に接して、将来のことを考えるようになりました。

## ■個別インターン 公演制作実習コース

**研修内容** 意欲や基礎的な知識はあるが、遠方在住等のため1年目プログラムへの参加が難しい者については、短期集中で公演の仕込み・本番・撤収日の制作・運営を実施体験した。

**研修公演** 『アルヴィン・スプートニクの深海探検』愛知県芸術劇場公演(3日間)



## 舞台芸術インターン ■2年目【企画制作コース・舞台技術コース】

**対 象** 舞台芸術インターン1年目の受講修了者で継続を希望する者。

**研修内容** 企画制作コース、舞台技術コースともに、2年目は、1年目で学んだ基礎知識をもとに公演現場での実地体験を重ねることにより、実践的・専門的な知識・技術を体得する。小ホールでの「ミニセレ（ミニシアター・セレクション）」公演を中心に、演劇・ダンス・音楽など様々な公演にスタッフとして関わった。

**研修公演** 島地保武×環 ROY『ありか』春日井公演及び知立公演  
『アルヴィン・スプートニクの深海探検』愛知県芸術劇場および半田、知立、豊川、稲沢公演  
カフェトーク  
シンフェール第13回公演「トリスタン・ミュライユ70歳記念公演：オンド・マルトノとピアノによる作品集」  
第16回AAF戯曲賞受賞記念公演『それからの街』  
三輪眞弘+前田真二郎 モノログ・オペラ『新しい時代』  
サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2018  
公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業・愛知セッション  
「クラシック・キャラバン・コンサート」  
愛知県芸術劇場×SPAC静岡県舞台芸術センター共同企画『寿歌』

**日 程** 2017/7/21～2018/3/26  
うち34日（平均11日参加）

**会 場** 愛知県芸術劇場小ホール（ほか）

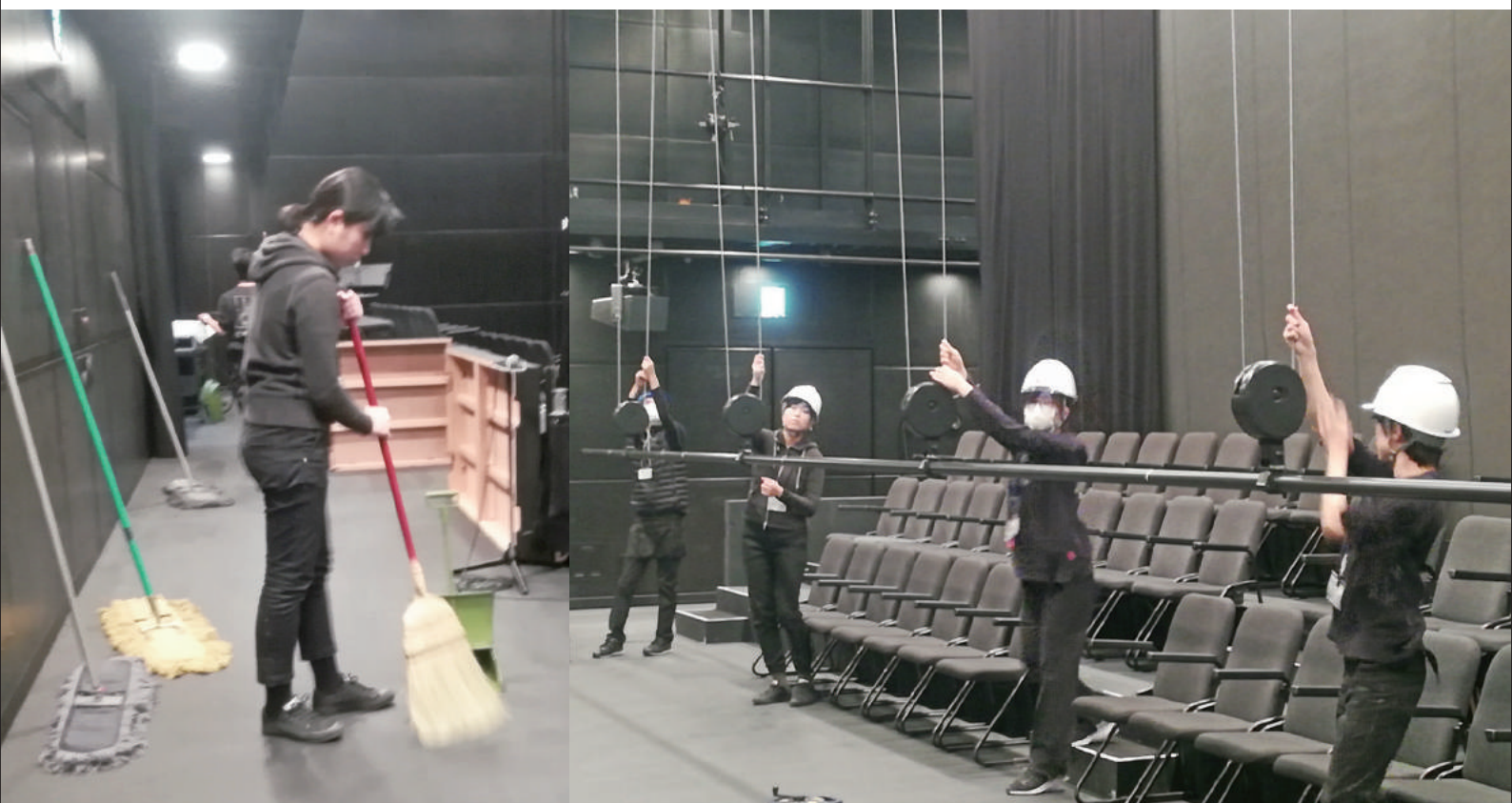
**講 師** 世古口善徳（愛知県芸術劇場シニアエンジニア）、山本麦子（同プロデューサー）ほか、同劇場職員

**参 加 者** 4人（愛知大学、愛知淑徳大学、名古屋工業大学、相山学園大学）

### アンケートより：

●短い時間でも色々な公演に参加させてもらい、劇場や公演に関わる仕事といっても関わり方は様々あると感じました。舞台芸術に関わるにしても、選択の幅がかなり広がったと思います。技術の知識もまだほとんどゼロですが、この業界に関わってみようと思う大きなきっかけになっています。2年目は制作の方や他の劇場の方の仕事を見たり、話す機会が増えたことが良かったです。

●学生ならではの意見を取り入れてくれたり、わからないことは研修後に質問に応じてくれたり、とても親切でした。実際の現場、舞台裏の雰囲気を知ることができて勉強になりました。ただ舞台が好きだからではなく、舞台を運営する側の仕事をしたいと強く思うようになりました。



# 学生インターン 職場体験、大学等と連携したインターンシップの受入

**対 象** アートマネジメント、舞台技術、舞台芸術振興等に関心のある学生・生徒。

**研修内容**

日程	内容
2017/8/1	講義1（劇場の仕事について、劇場運営・自主事業・広報・舞台技術について等） 施設見学
8/2	講義2（広報について、劇場等への就職状況について等） 自主事業現場体験1（げきじょうたんけんツアー・リハーサル）
8/3	自主事業制作現場体験2（げきじょうたんけんツアー） 振り返り

**日 程** 2017/8/1～8/3（3日間）

**会 場** 愛知県芸術劇場大ホール（ほか）

**講 師** 丹羽康雄（愛知県芸術劇場館長）  
ほか、同劇場職員

**参 加 者** 26人（名古屋学芸大学、国立音楽大学、多摩美術大学、名城大学、椋山女学園大学、愛知県立芸術大学、大正大学、大阪大学、名城大学、関西学院大学、早稲田大学、名古屋市立大学、三重短期大学、名古屋市立緑高校、クラーク記念国際高校名古屋校）

**実習日誌より：**

- げきじょうたんけんツアーの本番では、職員の方々が一つひとつの公演を一生懸命行っており、1回1回改善していたのが印象的でした。子どもたちの笑顔や反応がとても近く感じることができた1日でした。
- 本番はお客さんが入るため少し緊張しました。舞台機構の仕事はなかなか間近で見ることがないため、子どもたちだけでなく、自分自身にとっても良い経験になりました。このインターンに参加してよかったです。



## お仕事ナビ 舞台芸術に関わる様々な仕事の紹介

**対象** アートマネジメント、舞台技術、舞台芸術振興等に関心のある学生・生徒。

**研修内容** 劇場だけでなく、舞台芸術に関わる様々な仕事について、仕事に携わっている先輩が自分の仕事について紹介した。まずはどのような仕事があるのかを知ってもらい、就職に向けて考える機会とした。終了後、個別の質問も受け付け、講師それぞれが丁寧に対応した。

**日程** 2017/8/5 10:30/14:00 (2回)

**会場** 愛知芸術文化センター  
アートスペースG

**講師** 長谷川 巨 (名古屋市文化振興事業団文化振興事業部総務課)、山川 愛 (かすがい市民文化財団総務グループ)、木全 美和 (株式会社OFFICEリラン制作)、岩澤 陽介 (名古屋フィルハーモニー交響楽団事務局演奏事業部)、平松 隆之 (劇団うりんこ/うりんこ劇場制作部)、山田 なつ実 (金井大道具株式会社名古屋工場美術課)、山本章二・洞田 幸信 (中京テレビ放送株式会社事業局イベント事業部)

**コーディネーター** 林健次郎 (愛知県芸術劇場 企画制作部長代理・広報マーケティンググループ チーフマネージャー)

**参加者** 26人



# 劇場職員セミナー

**主催** 愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）、  
公益財団法人名古屋市文化振興事業団、愛知県、名古屋市

**対象** 主として公立劇場等の若手から中堅職員(3年目以上の勤務者を想定) 等。

**日程** 2018/1/10~1/12 (3日間)

**会場** 青少年文化センター (名古屋市)

**参加者** のべ667人 (愛知県民生活部文化芸術課、愛知県教育委員会生涯学習課、(公財)名古屋市文化振興事業団 (昭和文化的小劇場・西文化小劇場・熱田文化小劇場・名古屋能楽堂ほか)、名古屋市観光文化交流局文化振興室、日本特殊陶業市民会館、宗次ホール、三井住友海上しらかわホール、春日井市民会館、春日井市総合福祉センター、アイブラザー宮、一宮市民会館、(一財)こまき市民文化財団、長久手市文化の家、尾張旭市教育委員会文化スポーツ課、尾張旭市文化会館、日進市教育委員会生涯学習課、みよし市教育委員会教育行政課、豊川市文化振興課、(公財)豊川文化協会、刈谷市教育委員会生涯学習課、刈谷市総合文化センター、豊田市文化振興課、豊田市コンサートホール、豊田市民会館、東海市教育委員会文化芸術課、東海市芸術劇場、知多市教育委員会生涯学習課、知立市文化会館 (パティオ池鯉鮒)、常滑市民会館、碧南市芸術文化ホール、半田市教育委員会生涯学習課、津島市教育委員会社会教育課、豊橋市「文化のまち」づくり課、穂の国とよはし芸術劇場PLAT、安城市文化振興課、西尾市文化振興課、犬山市教育委員会文化スポーツ課、新城市教育委員会生涯共育課、蟹江市教育委員会生涯学習課、飛島村教育委員会生涯学習課、阿久比町教育委員会社会教育課、NPOたけとよ、岡崎シビックセンター、扶桑文化会館、幸田町文化振興協会・幸田町市民会館、(公財)大垣市文化事業団・大垣市サイトピアセンター、パロー文化ホール、下呂交流会館アクティブ、三重県文化会館事業課、伊勢市教育委員会文化振興課、(公財)伊賀市文化都市協会、四日市市文化会館、(公財)静岡市文化振興財団・静岡音楽館AOI、SPAC静岡県舞台芸術センター、(一財)長野市文化芸術振興財団・長野市芸術館、(公財)東京都歴史文化財団・東京芸術劇場、(公財)としま未来文化財団・劇場開設準備室、吉祥寺シアター、(公財)神奈川芸術文化財団・神奈川県民ホール、京都造形芸術大学舞台芸術研究センター、金沢21世紀美術館交流課、(公財)堺市文化振興財団・堺市民芸術文化ホール準備室、豊中市立文化芸術センター、(公財)越前市文化振興・施設管理事業団 越前市文化センター、久留米プラザシティ、魚沼市小出郷文化会館、(公財)しまね文化振興財団・島根県民会館、熊本県立劇場、劇団うりんこ、放課後等デイサービス、社会福祉法人グロー、SILENCE scape、Music Office Nobuchi、5/R hall&Gallery、月灯りの移動劇場、シバング舎、名古屋芸術大学、愛知県立芸術大学/大学院、オーボエ奏者、ハーブ奏者、クラリネット奏者ほか)

## ■研修内容

### ①明日からの仕事が変わる！ ～劇場職員1UP講座(照明編)～

#### 講師

河原裕輝 (名古屋市東文化小劇場・市民ギャラリー矢田 館長)  
今野忠則 (名古屋市中村・中川文化小劇場 館長)

**サポート** 名古屋市文化振興事業団 照明部会

サスペンションライトの仕込みやシーリングスポットの明かり合わせ、ピンスポットライトの操作体験などを行った。経験の浅い事務系職員にも解りやすい内容で、事業企画や利用案内などの業務でも活かせるようにした。

(河原)



### ②明日からの仕事が変わる！ ～劇場職員1UP講座(舞台編)～

#### 講師

野々村篤寛 (名古屋市天白文化小劇場 技術)  
神田輝生 (名古屋市守山文化小劇場 館長)

**サポート** 名古屋市文化振興事業団 舞台部会

地がすりの釘の打ち方や紗幕の吊り込み体験などを行った後、講演会でプロジェクターを使用する場合の舞台設営について、実際に吊看板や舞台備品を仕込みながら解説し、受講者とともに基調講演の舞台を完成させた。

(神田)





## ⑤ 基調講演 「これからの文化行政の課題とは」

### 講師

綿江彰禪（一般社団法人 芸術と創造 代表理事）

国内外の芸術文化を巡る予算・法律・取り組みの変遷を踏まえた上で、劇場や舞台芸術に多様な役割が求められている現状を紹介。芸術文化の本質を失わずに、バランスをとって活動を行っていく必要があること、そのためには人的資源が重要で、働き方に見合った待遇も大事であると語った。

（藤井）



## ③ ぶっちゃけSNSってどうなのよ

### ～デジタル・メディアの行方を考える～

### ゲスト

森藤亜美（名古屋市文化振興事業団 文化振興部総務課）  
相馬加奈子・鈴木 史子（かすが市民文化財団 広報コミュニケーショングループ）  
永田直子（穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業制作部）  
清水仁路（名古屋フィルハーモニー交響楽団 演奏事業部）

### コーディネーター

小出充訓（愛知県芸術劇場広報マーケティンググループスタッフ）

SNSを運用している劇場や演奏団体の皆さんに、どのような考えのもと運用しているのか、またどんな効果を期待し、どんな効果があったのかなどを実際の投稿をもとに紹介してもらい、ユーザーがSNSに求めているものは何かを検証した。（小出）



## ④ ぶっちゃけ広告ってどうなの

### ～広報予算の賢い使い方を考える～

### ゲスト

西野裕之（宗次ホール 副支配人）  
宮田健（名古屋市文化振興事業団 文化振興部 経営企画主幹）  
矢作勝義（穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術文化プロデューサー）  
山川愛（かすが市民文化財団 広報コミュニケーショングループ兼総務グループマネージャー）

### コーディネーター

林健次郎（愛知県芸術劇場 企画制作部長代理・広報マーケティンググループチーフマネージャー）

広告の効果測定はできるのか？ そもそも広告は効果があるのか？ どの媒体を使って、誰に向かって、何を訴求すべきか…考え始めたら夜も眠れなくなるこの永遠の課題について、先進劇場の戦略と戦術を聞いた。劇場のミッションと広報に対する考え方によって、組織、予算、媒体、期待する効果等が大きく異なることがわかった。（林）



## ⑥ 大規模改修に臨む！～経験から学ぶ大規模改修～

### 講師

浅野芳夫（愛知県芸術劇場 劇場運営部長）

愛知県芸術劇場の改修が終了した小ホール、まさに改修中のコンサートホールを事例に、改修工事に対する考え方や、改修工事を実施するうえで抜け落ちてしまいがちな注意したい事項について受講者と共に考えた。

（浅野）



### ③技能習熟プログラム

#### ⑦明日からの仕事がかわる!～劇場職員1UP講座(音響編)～

##### 講師

大矢英和(名古屋市民ギャラリー栄・東山荘 館長)  
長谷川亘(名古屋文化振興事業団 文化振興部総務課)

サポート 名古屋市文化振興事業団 音響部会

舞台音響の基礎知識について事例を挙げて説明を行った後に、音響システムの接続実習を、舞台の経験年数をもとに2つのグループに分かれて行った。最後はマイクケーブルを巻く「8の字巻き」練習を行った。(大矢)



#### ⑧トラブルに挑む!～事例から学ぶ舞台のトラブル対応～

##### ゲスト

池田拓司(兵庫県立芸術文化センター 舞台技術部舞台芸術劇場専門職)  
櫻井拓朗(新国立劇場 技術部舞台課課長)  
丹羽功(名古屋市芸術創造センター 館長)

##### コーディネーター

浅野芳夫(愛知県芸術劇場 劇場運営部長)

新国立劇場、兵庫県立芸術文化センター、名古屋市芸術創造センターの舞台運営時に発生したトラブル事例をもとに、劇場の規模やトラブルの大小を問わず、技術者の知恵を絞ればピンチは乗り切れるということを学んだ。また受講者からの多数の質問にも回答した。(浅野)



#### 番外ゼミ:トラブルに沈む!～事例から笑う覆面トーク～

##### ゲスト

A野(A県芸術劇場)、M山(N市文化の家) ほか

謎のパネリスト4名による、小ネタが多いのでは?という大方の予想を裏切る、壮大なスケールの“やらかした”事例発表に、会場は大爆笑であったが、技術者の日頃の緊張感、責任感も受講者に伝わっていた。謎のパネリスト達は来年の再演を勝手に誓い帰っていった。(A野)



#### ⑨助成制度と申請のポイント

##### 講師

唐津絵理(愛知県芸術劇場 企画制作グループ シニアプロデューサー)

助成の目的・意図・考え方を説明し、それを踏まえての申請書の書き方について紹介した。後半は、受講者自身で簡単な申請書を作成し、互いにアドバイスを合う実習を行った。(藤井)



## ⑩-A コミュニケーションの秘密、教えます！ ～アーティストから学ぶ接遇術（有料）～

講師

LONTO（クラウンファミリープレジャーB 道化師）

様々な状況でコミュニケーションをとることが求められるクラウン。その育成プログラムからゲームやワークを体験し、相手の思いや状況を探る観察術、印象をコントロールして相手との距離を縮める極意を学び、接遇の幅を広げることができた。（大森）



## ⑩-B アウトリーチ最前線！ ～地域創造・アウトリーチフォーラムを事例に～

講師

梶田美香（名古屋芸術大学芸術学部音楽領域 教授）

ゲスト

加藤愛（愛知県芸術劇場 企画制作グループ プロデューサー）

アウトリーチについて、2017年度愛知県で開催した、地域創造の「アウトリーチフォーラム」事業を例に挙げながら、その効果、影響とともに課題を確認した。その後、参加者たちが自らの実情を話し合い、情報交換するグループワークを行った。（藤井）



## ⑪ぶっちゃけ地域連携ってどうなの ～その目的と課題を考える～

ゲスト

坂崎裕二（可児市文化創造センターala 顧客コミュニケーション室係長）

中本正樹（小美玉市 市長公室政策調整課 主幹）

古橋敬一（港まちづくり協議会 事務局次長）

松浦茂之（三重県文化会館 事業課長）

コーディネーター

林健次郎（愛知県芸術劇場 企画制作部長代理・広報マーケティンググループチーフマネージャー）

地域連携は、劇場の大きな課題ではあるものの、その具体策は地域によって様々。先進劇場の事例の紹介と、各々の苦労や課題を聞いた。目的が複数化することによる「同床異夢」のトラップに陥らないよう、連携の具体的なイメージを組織内外で共有していくことが大切であることを再認識した。

（林）



## 番外ゼミ：劇場の働き方は改革できるのか？

講師

布目 藍人（日本芸能実演家団体協議会 実演芸術振興部 振興事業課）

ゲスト

M田（N市文化振興事業団）、M浦（M県文化会館）

Y川（K市民文化財団）、S崎（K市文化創造センター）

コーディネーター

H（A県芸術劇場）

このままでは劇場に就職を望む若者がいなくなる！「実演家・舞台・劇場スタッフの就労環境改善に関する調査研究（芸団協、2016年）」を下敷きに、中部地区の劇場の中間管理職の建前と本音を聞いた。また、フロアからも様々な意見や質問が飛び交い、各劇場や各個人の葛藤を垣間見ることができた。（H）



### ③技能習熟プログラム

#### ⑫「シアター・アクセシビリティ」障がい当事者に聞く ～劇場に求める鑑賞環境～

##### 講師

鈴木京子(国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 事業プロデューサー)

##### ゲスト

高木富生(NPO法人名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 代表理事)

近藤和美(名古屋市身体障害者福祉連合会)

##### コーディネーター

大森千聡(名古屋市文化振興事業団)

障がい者の鑑賞環境について2017年2月の実態調査と最新の状況を報告。視覚と聴覚の障がい当事者をゲストに迎え、劇場側に求めるサポートについてインタビューを行った。障がい当事者の生の声を聞き、障がいへの理解を深める貴重な機会となった。(大森)



#### ⑬障がいのある人も、ない人も。すべての人が参加できる 鑑賞環境づくり～”予算ゼロ”でもできること～

##### 講師

南部充央(株式会社リアライズ バリアフリーイベント ディレクター)

##### ゲスト

富田顕生(愛知県芸術劇場 劇場運営グループ ホール支配人)

##### コーディネーター

大森千聡(名古屋市文化振興事業団)

障がい者をはじめ、高齢者、外国人など、多様な人々が訪れる劇場。その職員として、どのようなサポートを提供できるか、名古屋、愛知、兵庫ほか各劇場の取り組みを、体験を交えて紹介。限りある予算やハードを補える人材と、その育成が強く求められていることが確認できた。(大森)



##### アンケートより:

- 職場に持ち帰って他のスタッフに伝えて、課題や取り組むべきことを共有していければと思います。ありがとうございました。
- 他の劇場の状況など、普段現場で仕事をしているだけではわからないことが多く、勉強になりました。
- 大規模改修やトラブル対応など、実際に体験した人の生の意見を聞くことができる研修は非常に有意義であったと思います。今後も実務に役立つ研修を希望しています。
- 助成金申請のノウハウを学んで、次こそは獲得するぞ!という気になった。アウトリーチはまだまだ経験値が不足しているが、長く続けていくことで現場の役に立てるところが見えてくるような気がした。
- 具体的にとても勉強になりました。人員不足・予算不足を言い訳に積極的に広報に取りくんでないことを反省し、改めてあり方を考えてみようと思います。今日は自主事業がありましたが、参加してよかったです。
- 興味あるテーマがたくさんあり、今後もセミナー開催をお願いいたします。

## 【関連セミナー】愛公文セミナー

愛知県芸術劇場は、愛知県内の公立文化施設による愛知県公立文化施設協議会事務局を務め、2017年度も年間3回の講座を開催した。

**対 象** 愛知県公立文化施設協議会加盟館の新規採用職員、異動により劇場勤務となった者 等。

**日 程** 2017/6/17、8/29、11/14

**会 場** 愛知芸術文化センターアートスペースEF、G

**講 師** 浅野芳夫（愛知県芸術劇場劇場運営部長）、丹羽功（名古屋市芸術創造センター館長）、林健次郎（愛知県芸術劇場企画制作部長代理）、  
 初山勝人（長久手市文化の家事務局長）、藪田哲也（幸田町文化振興協会統括マネージャー）、米本一成（かすがい市民文化財団チーフマネージャー）

**参加者数** I 46人 II 30人 III 35人

### 研修内容

日程	内容
I 2017/6/17	①文化政策を取り巻く環境 ②舞台業務の基礎知識
II 8/29	③自主文化事業の制作実務 ④施設の管理と運営
III 11/14	⑤リスクマネジメント ⑥自主文化事業の企画立案



## 【研修生受入れ】

愛知県芸術劇場では、舞台芸術に関わる専門人材の育成に貢献し、地域全体での舞台芸術の振興及び創造的活動等の環境整備につなげるため、近隣の劇場や公益財団法人から研修生を受け入れている。2017年度は2名の研修生を受け入れた。

### 研修内容

日程	研修生の所属	研修会場	参加人数	研修内容
2017/4/5～6/22 (うち20日)	長久手市文化の家	愛知県芸術劇場	1人	広報マーケティンググループでの広報事務
2018/1/10～12 (うち3日)	金沢芸術創造財団	名古屋市青少年文化センター	1人	劇場職員セミナーの準備・当日運営

# 舞台芸術創造セミナー

## 舞台作品における 音楽のあり方をめぐって ～講座と実践の両面から

**対 象** 新しい舞台芸術作品の創造に関心のある、アーティスト、制作者、劇場職員、大学等で舞台芸術を学ぶ学生、芸術文化コーディネーター 等。

### 研修内容

ひろく舞台芸術に関わろうとする人のための音楽を中心としたセミナーとワークショップ。前半は、舞台上で音楽をどう考え扱っていけばよいのかなどの理論と、音響機材や録音機材についての基礎知識についての講義。後半は、その知識を踏まえて各自が実際にショートピースを作り、受講者同士で合評した。

日程	内容
2018/ 2/21、22	<b>基礎講座</b> 講義：舞台作品における音楽について、その位置づけ・芸能からみる成り立ち・恣意性について。 実習1：マイク・スピーカー・音響卓などの機材の基礎知識と取扱い。 見学：ピアノ及びボイスの録音・編集。
2/27、28	<b>基礎実践</b> 見学：チェロ、コントラバスの録音・編集。 実習2：各自、コンセプトを固め、録音・編集等を行ってデモ作品を作成し、発表。受講者それぞれが、演奏者や録音スタッフにコンセプト・作品の方向性等を伝えて、あるいは自分のPCのDAWソフトを用いて、ショートピースを制作した。

**日 程** 2018/2/21、22、27、28 (4日間)

**会 場** 愛知県芸術劇場大リハーサル室

**講 師** 港大尋 (作曲家・ピアニスト・シンガーソングライター)、大村太一郎 (コントラバス・チェロ・打楽器奏者)、堀優 (金井大道具NAGOYA 共同企業体音響技術者)

**参 加 者** 12人 (公共劇場舞台技術職員・劇団音響スタッフ、アマチュア劇団音響スタッフ、コンサート制作者、映像演出スタッフ、パフォーマンスグループ主宰・パフォーマー、ダンサー・振付家、音楽家・フリー音響スタッフ)

### アンケートより：

- 知っているようで、ちゃんと知らないようなことを再確認できて良かった。
- 出演する立場からの関わりでは学べないことをじっくりと知ることができた、とても貴重な時間でした。録音の方法や機材、操作によって音の違いがあることを聴き比べられて勉強になりました。普段なんとなく過ごしてきたことが、非常に専門性の高い技術であるということを実際に体感できました。また、プロの音楽家と音楽を作るという貴重な経験ができ感謝しています。
- すごく楽しかったし、すごく勉強になりました。聞きかじっていた事がつながったし、プロの方の姿勢をみて学ぶところも多かったです。チラシで見たときはハードルが高そうでしたが、本当に親切にさせていただいて、ありがとうございました。





**2017 年度  
愛知県芸術劇場  
舞台芸術人材養成ラボ報告書**

発行：愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）

〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜一丁目13番2号

TEL：052-971-5609

URL：<http://www.aac.pref.aichi.jp/>

編集：愛知県芸術劇場

デザイン・印刷：株式会社日総研印刷

発行日：2018年3月